

龍顔寺大雄寶殿(上田市)

ここが龍顔寺入口



ここから参道は不動の池を通る



この不動の池の水源は、龍顔寺山内北側にある不動沢である





後方は1788年建立の山門/棟梁は佐久野沢(現佐久市)の佐藤源蔵(岩村田城築城)で、唐風楼阁造り



振り返って見る



背面から見る山門



山門は平成十七年度に「丸子景観百景」のひとつに選ばれたとのこと



前方に本堂が見えてくる



本堂(大雄寶殿)/木造/二重樓閣造り/平成五年十月完成(構想4年、施工期間4年)とのこと





鍔葺屋根となっている







上層と下層の屋根勾配がほとんど同じように見える











妻面を見てみよう



右手前は裏門/1700年代造立

























こうしてみると、上層の屋根と下層の屋根の勾配に変化が無く、つまり鍩葺屋根がもつ美的ポイントである上層の屋根の屹立性が見られないが、そうであればわざわざ鍩葺屋根にしなくとも素直に入母屋屋根でまとめても良かったのではなかろうか





背面から見た本堂













さて、木造の構成も見てみよう



柱が細く(ヒョロ長く)見えてしまうが、軸部の縦横のバランスに問題がありそう



軒の出は十分



忠靈殿(戦死者供養殿)





客殿(衆寮)



池のほとりの不動明王・石殿か





さまざまな石造物もある







お約束の再利用材置き場



不動の池の向こうにも再利用材置き場が見える



正面も再利用材置き場



左手に石碑がある



信州上田城主、真田信之公の朱印状の碑



次は本堂裏手にある供養塔を見てみよう



真田宮内之助高勝公の菩提寺となっている



標柱の両脇の五輪塔が真田宮内之助高勝公の供養塔という



その他、歴代住職の墓所となっている







六連銭のマークがみえる/真田家の墓所か



これも真田家縁者を示す標柱



さて、この正面は真田宮内之助館跡という/左手は調査隊の車





左手に進むと宮内助神社があるという



ここが宮内之介高勝を宮内大神として、御霊を祀る宮内大神



拝殿/正面後方に宮内宮が見える





二基の石祀



振り返るとこんな風景



こちらはお賽銭入れと寄付額が掲示してある/ここの鳥居もみすぼらしい



お賽銭入れと寄付額



参考ホームページ

<http://www.ryuganii.or.jp/2.html>

